

上社前宮てくてくマップ

茅野市宮川安国寺

にゃ〜るほど！前宮 その1

- ・前宮には建御名方命(たけみなかたのみこと)の子孫とされる現人神(あらひとがみ)の大祝(おおほうり)の居宅である神殿(ごうどの)が現在の社務所あたりにありました。
- ・大祝は現人神として、おおむね8歳位のけがれのない子供が神宝を授かって世襲で代々職位し、成人になると次代へ引き継ぎました。
- ・守矢氏は建御名方命が諏訪に入る以前からの土着の名族であり、その祖先は洩矢神(もれやしん)であると伝えられています。
- ・守矢氏は神長官(しんちょうかん)として大祝職位の儀を執り行うなど重要な任にあたっていました。

茅野市公民館では、平成26年度から、地域の宝物や魅力を見つたり再発見をしりながら制作する「お宝マップ」を「人と人をつなぐ」ための一つのアイテムとして活用することを提案しています。

平成28年度の学習専門委員会では、茅野市のお宝である諏訪大社前宮に注目し、点在する史跡などの歴史を学習しながらいにしへの世界に思いをはせるためマップを制作しました。各地域の今後の取組の参考になれば幸いです。

企画・制作：茅野市公民館 学習専門委員会

問合せ先：茅野市公民館 (0266-72-3266)

協賛：茅野市観光協会

茅野市まちづくり応援団 茅野TMO

諏訪大社ロータリークラブ

出典：安国寺史友会史跡資料

神長官守矢史料館周辺ガイドブック



てくてく散策の日
平成28年6月4日、7月30日

前宮本殿(まえみやほんでん)

- ・前宮だけに本殿があり、本宮や春宮、秋宮にはありません。
- ・左側に諏訪明神が降りたとされる石があり、諏訪大社発祥の地とされる由縁のひとつです。
- ・現在のお社は、昭和7年に伊勢神宮の遷座祭後のお社の用材が移築されたものです。
- ・それ以前の社殿は茅野市北山系宮に移築され、折橋子社(おりはしねのしゃ)となっています。
- ・かつて前宮は諏訪大社の撰末社のトップの位置付けでしたが、明治後期から本宮と同格の扱いとなっています。



鶏冠社(けいかんしゃ)

- ・大祝(おおほうり)の職位式が行われた、秘密にして聖なる地。
- ・神長官である守矢氏により、山鳩色の装束を着て、現人神としての大祝になる儀式が行われました。
- ・装束を着る儀式を御衣着(みそぎ)の式といい、その様子は誰も見られなかったといわれています。
- ・ここから内御霊殿(うちみたまでん)に向かい、民の前にお出ましになりました。



諏訪照雲頼重(すわしょううんよりしげ)の供養塔

- ・南北朝時代、足利尊氏らに奪われた鎌倉を、北条時行を擁して一時期奪還した信濃勢の総大将だった武将。(鎌倉の三日天下)



内御玉殿(うちみたまでん)

- ・鶏冠社で即位した大祝が神宝である「真澄(ますみ)の鏡」を胸に飾り、「弥栄(やさか)の鈴」を打ち振って民の前にお出ましになったお社。
- ・神宝が安置されていたといわれています。



弓立石(ゆみたていし)と的場薬師(まとばやくし)

- ・桜の木の下に「弓立石」、その西100mに「的場薬師」があり、弓を引く神事があったことを物語ります。

子安社(こやすしゃ)

- ・建御名方命の母、高志沼河姫命(こしのぬなかわひめのみこと)を祀る安産のお社。
- ・本宮か前宮の社務所で底が抜けた柄杓を受け、ここに奉納します。
- ・上社の氏子はこちらにどうぞ。
- ・縁結びのご利益もあります♥



御室社(みむろしゃ)

- ・戦国時代まで、ここに土室を作り、穴築始(あなすはじめ)という冬ごもりの神秘的な神事が行われていました。
- ・蛇の形をしたミシャグチ神の御神体とともに祭事を行ったといわれています。



即位した大祝は鶏冠社から内御玉殿へ

私有地につき、許可なく立入はご遠慮を



岩の間から湧き出る源流

かまくらみち 鎌倉道

水眼の清流(すいがんのせいらいゆ)

- ・神殿のみそぎの水として使われていました。
- ・水源は約1キロ先の上流の断層から湧いており、年中水温水量は一定だそうです。



柏手社(かしわでしゃ)

- ・古い時代には飲食器に柏の葉を用いていました。
- ・御頭祭などでの神前への供物を調理した場所。



十間廊(じゅうけんろう)

- ・様々な神事を行う場所で、4月15日の御頭祭は最も重要。
- ・かつては鹿の頭75頭や山海の幸が積み上げられました。
- ・御頭祭では泉野の中道・榎木の氏子が奉仕しています。

溝上社(みぞがみしゃ)

- ・建御名方命の母の高志沼河姫命(こしのぬなかわひめのみこと)を祀るお社。
- ・かつては水眼の清流がここまで流れていて、みそぎの池の中にありました。



若御子社(わかみこしゃ)

- ・建御名方命と八坂刀売命(やさかとめのみこと)の子ども22人のうち諏訪の国づくりに貢献した13人を祀るお社。



荒玉社(あらたましゃ)

- ・農耕の神事として、稲の御霊を祀るお社。
- ・宮川添いの田んぼの中にあつた祠をこの場に移築しました。



至 宮川茅野

前宮前

至上社本宮



宮川第二 保育園

駐車場

このマップは、史跡看板や各種資料からの引用、伝承、個人の研究や感想などを記載しているものです。